



県南建設事務所 道路課  
バイパスチーム 主査 今井 賢也

復興の槌音（つちおと）が聞こえる

施工場所：白河市

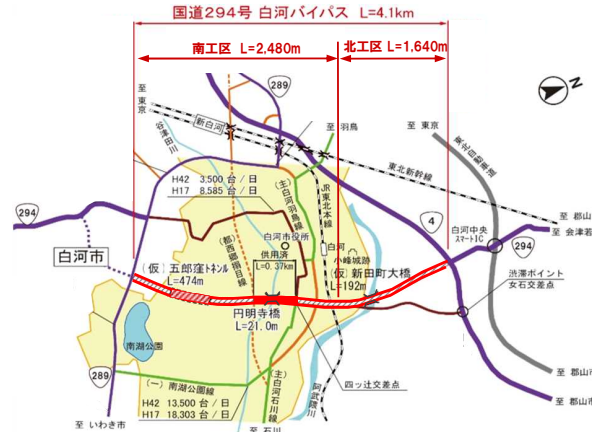
1. はじめに

- 国道294号白河バイパスは、「福島県総合計画」及び「県南都市計画区域マスタープラン」に位置づけられ、広域的な連携・交流を促す交通ネットワークの要であり、白河市の中心市街地を通過する幹線道路である。
- 先の東日本大震災では、県南地域に大きな被害をもたらし、市街地では大渋滞が発生するなどの深刻な事態に陥ったため、**災害に強いまちづくり**を目指すとともに、県南地域の復旧・復興を後押しするため、白河バイパス整備事業が急務となった。
- 平成25年度に**震災復興事業（再生・復興枠）**として採択され、県南地域の**復興のシンボル**として平成26年度から本格的に用地交渉を開始した。
- **平成30年代前半**の供用開始を目標として、全力で取り組んでいる。

2. 白河バイパスの特徴

- 南工区は、市街地を通過する路線で、沿線の多くの家屋が移転の対象となる。城下町特有の街並みが多く残されており、道路と一体となった**歴史・文化と調和した景観街づくり**が求められている。
- 北工区は、震災で甚大な被害を受けた葉ノ木平地区を通過する。**災害公営住宅**や防災機能を備えた**震災復興記念公園**の整備を支援するために、バイパス道路の整備が急務となる。

白河バイパス全体図



事業概要

- 工事概要  
全体延長 L=4,120m  
南工区 L=2,480m W=6.5(20.0)m  
北工区 L=1,640m W=6.5(15.0)m
- 主要構造物  
五郎窪トンネル(L=474m)  
新田町大橋 (L=192m)  
JR東北本線架道橋(L=30m)



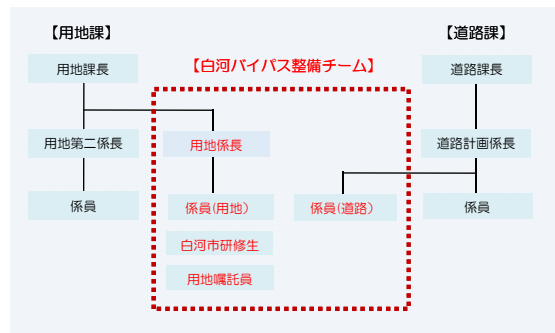
完成した馬町工区

3. 白河バイパス整備チーム

- バイパス事業を加速的に進め、**復興の槌音（つちおと）**を響かせることが、地域住民に将来への希望を与えるため、平成26年度にバイパス事業に特化した専属チーム「**白河バイパス整備チーム**」を発足させ、早期整備に向けて取り組んでいる。
- 用地課と道路課から選抜された職員で構成された少数精鋭のメンバーにより、チーム一丸となって精力的に事業を進めている。
- チーム発足当初より、地元精通した白河市から研修生を迎え、県と市が一体となることで連携を強化し、円滑な事業展開を図っている。



チーム構成図



4. チームの役割と意義

チームの存在理念とコンセプトが明確である

目標達成のため相互の役割が機能的である

情報を共有し一体感と結束力が生まれる

加速的な事業の推進

5. おわりに

- 白河バイパス事業を理解するための一助となるべく、事業概要や旬の情報をまとめた「**白河バイパスニュースレター**」を発刊し、地域の皆様への情報発信に努めている。（※事務所のHPに掲載中）

契約状況

契約数 (筆)				単位：筆
工区	H25	H26	H27	合計/全体
南	0	30	34	65/202
北	1	23	54	59/200
合計	2	53	84	124/402

31%

契約面積				単位：㎡
工区	H25	H26	H27	合計/全体
南	0	2,078	2,190	4,295/35,946
北	1,486	4,585	9,147	15,218/32,385
合計	1,486	6,663	11,337	19,513/68,331

29%